

日本天文学会 1968 年春季年会

プログラム

日 時 昭和43年5月29日(水), 30日(木), 31日(金)

場 所 東京都文京区 東京大学理学部2号館

	9時		12	13		17	18	19
5月29日 (水)	講	演	評議員会		講	演		
30日 (木)	講	演	総会		講	演		懇親会
31日 (金)	講	演	理事会	講	演			

☆ 講演者は、時間厳守に御協力をお願いします。

☆ 29日正午より評議員会、30日正午より総会、31日正午より理事会を開催します。

講演予稿集について：特別会員には1部ずつ無料で配布しますが、その他の方および特別会員で2部以上希望される方は1部につき送料とも100円をお送り下さい。年会の当日会場でもおわけします。

第1日 5月29日(水)

【午前】(9時より)

1. 後藤進, 大江昌嗣 (緯度観測所): タルコットレベルの特性……………10
2. 高木重次, 古川蹴一郎, 横山紘一 (緯度観測所): Astrolabe 観測の Systematic Correction ……………10
3. 高木重次, 古川蹴一郎, 横山紘一 (緯度観測所): 水沢アストロラーベ星の暫定修正値……………10
4. 須川力, 大川泰, 北郷拓 (緯度観測所): FZT の乾板常数について (I)……………10
5. 奥田豊三, 若生康二郎 (緯度観測所): 極運動決定法の考察……………10
6. 若生康二郎 (緯度観測所): ILS による章動定数について ……………10
7. 石井久, 佐藤弘一, 阿部芳久, 弓滋 (緯度観測所): ILS と IPMS の極運動比較……………10
8. 高木重次 (緯度観測所): 極運動の数値実験 (II) 大気運動についての基本式……………10
9. 飯島重孝, 加藤正 (東京天文台): 電話線を介した原子発振器の比較例……………7
10. 飯島重孝, 新美幸夫 (東京天文台): 時刻観測に及ぼす地球潮汐の影響……………7
11. 藤原清, 原孝, 酒井照夫 (東京天文台): 位相差比較器とその特性……………10
12. 岡崎清市, 名阪満津子 (東京天文台): 時刻観測資料から求めた極軌道と緯度観測資料から求めたものとの系統的差異について……………10
13. 須川力 (緯度観測所): チャンドラー楕円より推定された地球の三軸不等について (II) ……………10

【午後】(1時半より)

14. 堀源一郎 (東大・理): 2つの剛体の運動……………7
15. 堀源一郎 (東大・理): 新しい一般摂動論による月運動論……………7
16. 木下宙 (東京天文台): 計算機による月運動論……………8
17. 古在由秀 (東京天文台): 制限3体問題における新しい周期解……………10
18. 藪下信 (京大・工): 土星環の運動の安定性……………10
19. 佐藤文男, 赤羽賢司* (東大・理, *東京天文台): IC 1795 領域の星の三色測光……………7
20. 上杉明, 福田一郎 (京大・理): 恒星の自転速度について (II) ……………7
21. 小暮智一, V. Doazan*, M. Duval*, R. Herman*, 伊藤周宮子* (京大・理, *パリ天文台): Be 星の輝線スペクトル (I), バルマー減滅率 (予備的考察)……………7

22. 小暮智一 (京大・理): Be 星の輝線スペクトル (II), 輝線輪郭	7
23. 小林英輔, 竹内峯 (東北大・理): ケフェウス座 δ 星のスペクトル (I)	10
24. 平井正則 (東大・理): WZ Cas 星のスペクトルについて	7
25. 藤田良雄 (東大・理): 炭素星の C^{12}/C^{13} 決定に役立つ写真赤外域 CN 線について	10
26. 西村史朗 (東京天文台): 特異星の変光の観測 (II)	7
27. 近藤雅之 (東京天文台): Am 食変光星 RR Lyn (II)	7
28. 佐藤弘一 (緯度観測所): 食変光星 R CMa について (II)	10
29. 北村正利, 山崎篤磨* (東京天文台, *東大・理): Praesepe 内の近接連星 TX Cnc について (III)	7
30. 大沢清輝, 市村喜八郎, 野口猛, 渡辺悦二 (東京天文台): フレア星 YZ CMi の連続観測	5
31. 大沢清輝, 清水実, 市村喜八郎 (東京天文台): HD 221568 の星間吸収の推定	5
32. 石田五郎 (東京天文台): 視線速度乾板の測定精度について	5

第2日 5月30日(木)

〔午前〕 (9時より)

33. 竹内端夫, 忽滑谷基 (東京天文台): 小惑星の変光観測	8
34. 関口直甫 (東京天文台): 環消失期の土星観測 (II)	10
35. 小尾信弥, 岡本功* (東大・教養, *緯度観測所): 木星型惑星の熱史	10
36. 鳴海泰典 (花山天文台): 火星大気中の放射平衡温度分布	7
37. 岩崎恭輔 (花山天文台): 金星大気中の温室効果について	7
38. 田中済 (東大・理): 土星大気中の水素分子の量について	10
39. 蒲生格 (早大・理工): 天王星の大気中のメタン帯の同定	10
40. 赤羽徳英 (花山天文台): 月の thalassoid の成因	8
41. 長根潔, 宮沢敬輔 (東京天文台): 35GHz における月面電波の観測	7
42. 松丸勝 (防衛大学校): ビデオスペクトロヘリオスコープの概要 (VI)	8
43. 大城義名, 宮沢正英, 東康一, 宮崎英昭, 長沢進午 (東京天文台): フレアの H α 線輪郭の連続撮影装置	7
44. 牧田貢 (東京天文台): 黒点の TiO スペクトル	10
45. 太田邦弘 (東大・理): 太陽の C^{12}/C^{13} 比について	7
46. 石沢俊亮 (京大・理): 有限大気から放射されるカルシウムイオンのスペクトル	

第3日 5月31日(金)

[午前] (9時より)

64. 大野陽朗, 石塚俊久* (北大・理, *茨城大・理): Geometrical Shock Propagation	10
65. 寺内隆太郎 (東北大・理): 非断熱衝撃波による星の外層の膨張運動について	10
66. 岡本功 (緯度観測所): 速度不連続面の安定性	10
67. 海野和三郎, 近藤正明 (東大・理): 一般変分原理による乱対流の取扱い	10
68. 相川利樹 (東北大・理): 回転ポリトロープガス球の二次摂動論	10
69. 藪下信 (京大・工): 等温ガス球の重力不安定について	10
70. 宮本昌典 (東京天文台): 非定常回転流体における pear-shaped figure の形成	10
71. 斎藤衛 (東京天文台): 剛体回転をする流体の安定性について	8
72. 藤本光昭 (コロンビア大・天文, 名大・理): 回転ガス体の重力収縮	10
73. 新見英幸 (京大・工): 恒星系の重力不安定に対する微分回転の影響	10
74. 加藤正二 (東大・理): 回転している恒星系の流体力学的記述と速度楕円体	10
75. 加藤正二 (東大・理): 回転している恒星系を記述する流体力学的方程式系の解の性質	10
76. 河鱈公昭, 藤本光昭 (名大・理): 星団の星の運動	10
77. 下田真弘, 谷川清隆 (東大・理): 球状星団の光度関数 (I)	10

[午後] (1時より)

78. 高瀬文志郎 (東大・理): 岡山 188 cm 反射望遠鏡による galaxies の表面光度分布観測 (II)	10
79. 大木俊夫 (福島大・教育): 銀河腕の形成	5
80. 兼古昇, 大谷浩 (北大・理): セイファート星雲の核構造	10
81. 高窪啓弥 (東北大・理): 水酸基輝線について	10
82. 海部宣男 (東大・理): Shell-Type HII 領域の電波観測	7
83. 佐藤文男 (東大・理): 電波源 W49 の構造について	7
84. 高橋孝雄 (東京天文台): NGC 7822 (W1) の電波観測	5
85. 高倉達雄, 内田豊 (東京天文台): 宇宙電波, 惑星電波に使われているシンクロトロン放射率について	10
86. 若林謙一, 小暮智一 (京大・理): 天体電波源内における電波の再吸収について	5
87. 祖父江義明 (東大・理): 膨張宇宙における星雲生成と星雲間空間の熱史	10

線の強度	10
------	----

[午後] (1時半より)

47. 日江井栄二郎 (東京天文台): 彩層低部の構造	7
48. 黒河宏企 (花山天文台): 1962 年日食における活動領域の閃光スペクトル	8
49. 川口市郎 (花山天文台): ループプロミネンスのスペクトルについて	10
50. 田中春夫, 柿沼隆清, 鯨目信三 (名大・空電研): 干渉計でみたマイクロ波パースト	10
51. 高倉達雄, 内田豊, 甲斐敬造 (東京天文台): ジャイロシンクロトロン放射の電波スペクトルとその時間変化	10
52. 内田豊 (東京天文台): 電波擾乱を伴わなかった池谷-関彗星 (1965f) のコロナ通過について	7
53. 海野和三郎 (東大・理): 一般変分原理による恒星内部および大気モデルの取扱い	10
54. 海野和三郎, 加藤正二 (東大・理): 一般変分原理による殻源熱不安定性の取扱い	10
55. 西田稔 (京大・理): Protostar の進化	10
56. 柴田行男 (東北大・理): 組成均一の初期主系列星モデルの自動計算	10
57. 一柳寿一, 須田和男, 内田寿一*, 柴田行男 (東北大・理, *東北学院大・工): 星の進化の自動計算における対流層の取扱いについて (I)	10
58. 西田稔, Alan M. Schindler* (京大・理, *Brandeis 大): $30M_{\odot}$ の種族 I 星の進化 (I)	10
59. 浅野功義, 杉本大一郎 (名大・理): 原始ヘリウムと horizontal branch 星の明るさ	10
60. 山崎篤磨 (東大・理): 近接連星の進化	10
61. 岡本功 (緯度観測所): 主系列前の太陽からの角運動量の放出について	10
62. 上野季夫 (京大・理): 有限な一次元煤質内における非線型輻射輸達	10
63. 松本雅道 (京大・理): 多重層による輻射の反射および透過に関する Hawkins の理論について	10